労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙
２０１５年１２月１８日発行
Ｎｏ．５１７（第４７期１０号）
〒454-0055
名古屋市中川区十番町 2-8
栄和産業(株)ビル 2F
TEL/FAX　052-654-1210
http://aichirousan.web.fc2.com/

八ヶ岳・権現岳方面から見る富士山

11 月末に赤岳から縦走途中に見た富士山。雲海に浮かんだ姿は美しかったが、今年の気象状況を反映してか、雪がほとんどなかった。先日は、朝、家の戸を開けたら 20 度を超す温かい風が吹き付けてきた。今年の暖冬傾向で東海地方の南岸上に非常に温かい空気が居座っていて、北陸地方の日本海沿岸に発達した低気圧の中心が、強い南風の通り道になる東海地方に、暖気を強力に引き込んだのだとか。近くの三重県津市では正午の最高気温は 23.7 度で 1904 年以来 111 年ぶりに 12 月の観測記録を更新したのだとか。家の中より外の方が温かい 12 月とは…。

≪目　次≫

巻頭言	余すところ 2 週間。いい冬山を、いいお年を。	2
遭対部	12 月 11 日（金）　冬合宿遭対連絡会議を開きました	3
	第 47 期冬山合宿提出一覧	4
	積雪期救助訓練にみんなで参加を	
婦人部	第 8 回女性のつどい「実践　山筋ゴーゴー体操総集編」を実施	5
組織部	2016 年 1 月 21 日　第 6 回組織担当者会議を開きます	6
	ふわく山の会が 250 人、山岳同志会が 110 人を越えました	
	県連活動メモ	7
	ＳＣＨＥＤＵＬＥ	8

巻頭言

余すところ２週間。いい冬山を、いいお年を

愛知県勤労者山岳連盟　会長・理事長　　洞井孝雄

今年も余すところ2週間弱。

安倍政権は、いま、「軽減税率」をエサに消費税率10％への引き上げを着々と進めています。「国民はモチを食ったら忘れる」という言葉を吐いた自民党の議員がいたようですが、戦後70年を迎えて、「憲法9条の下では集団的自衛権は行使できない」という憲法解釈を閣議でひっくり返し、安保関連法を強行可決したことを忘れるわけにはいきません。どんなに国会で多数の政権党でも憲法の枠組みは守らなければならないはずですが、沖縄の辺野古基地建設の強行、秘密保護法の違憲の問題点の噴出、野党の臨時国会開催要求の無視、原発の再稼働、ＴＰＰによるわが国の農業売り渡しなど、平和主義、立憲主義、民主主義の破壊だという声などどこ吹く風で、暴走を続けています。やはり現政権を倒し、閣議決定を撤回するしか道はなさそうです。

医学生理学賞の大村さん、物理学賞の梶田さんのノーベル賞授賞式報道と前後して漫画家の水木しげるさん、作家の野坂昭如さんの訃報がもたらされました。ダイナマイトを発明したノーベルの富によって設立された賞の報道と、あの戦争の悲惨さを訴えてきたひとたちが亡くなったという報道、まったく意味合いが違いますが、今年私たちの国にどんな動きがあったかを合わせて考えろ、という問題提起をしているようにも思えないわけではありません。

山の世界に話を戻します。山岳雑誌を開いたら、11月に近藤等さんが亡くなったという記事が目に入りました。フランス文学者で早稲田大学名誉教授、多くのヨーロッパの登山家の著書をわが国に紹介し、ヨーロッパアルプスの魅力を伝えたひととしてよく知られています。30年以上前にヨーロッパアルプスに向かったとき、私たちの唯一の参考文献は近藤等訳、Ｇ.レビュファの『モンブラン山群100選』という本でした。№.１から№.100まで数字が大きくなるにつれてグレードが高くなるルートが、見開きの写真と解説で紹介されたものです。その解説もレビュファの文学的な表現では、現在のルート図やトポのように詳細ではなく、あそこに書かれていた「Ｖ級の一歩」というのはあれだったのか、と実際に手探りで登ってみて納得するようなものでしたが、当時の私たちにとっては大切なヨーロッパアルプスを登るための情報であり手引きでした。

フランスのシャモニにあるロジェールというキャンプ場で、周囲の岩登りをしながら4週間あまりを過ごしたのですが、そこへ近藤さんが訪ねてきてくださったことがありました。一緒にキャンプ生活をしていた日本人の仲間がシャモニ市街でレビュファの別荘に来ているという近藤さんに出会ったとのことで、わざわざインスタントラーメンを差し入れに来てくださったのでした。たったそれだけのことですが、海外登山をする人たちが今ほど多くない時代のことで、強く印象に残っています。

同じ雑誌で、今年の山岳事故は相変わらず多かったことが触れられています。そこでは登山史的な重大な遭難というよりは「個人的な遭難」という事例が大半であるということも。現在の登山者の傾向を反映しているのだろうと思いますが、登山者のレベルによって、早期に救助要請をして救助されるという登山者と、自力で解決を図ろうとして救助要請が遅れ、危機を招くという登山者の両極に分かれる事例が出てきているとの指摘や、クライミング中の事故が多発したとい

う結果も報告されています。

師走になっても周辺の山にはまだ本格的な雪がやってきていません。

12月上旬に予定されていた氷雪技術講習会の実技も来年の1月に延期されました。

冬合宿を前にして、各会もトレーニング山行に出かけているようですが、なかなか例年とは違う山の状況に苦労しているようです。このような状態で、年末年始にどかっと雪がきたりすると、それへの適切な対応や準備ができればいいのですが…などと余計な心配をしたりします。

来年も、私たちを取り巻く状況に目を向け、何が登山できる条件をもたらしているかを考え、実際に山に登りながら、生あることの幸せをかみしめることのできる一年にしたいものです。

いい、冬山を。いいお年をお迎えください。

遭対部

12 月 11 日（金）第 47 期冬山合宿遭対連絡会議を開きました。

2015 年 12 月 11 日（金）19：30 から、県連事務所で第 47 期冬山合宿遭対連絡会議を開きました。出席は 11 山岳会、18 名【嶋村・木村・甲斐（あつた）、塚田・林・斉藤・水越（同志会）、西尾（くらら）、小栗・洞井（半田 F）、天池（アリス）、榊原（ありんこ）、望月（ふわく）、鷹見（若駒）、松本・石井（東三河）、千田（スルジェ）、白井（じねんじょ）、高井（峠）】

当日提出された計画書は、7 山岳会 16 件でした。

連絡会議までに、計画書が間に合わなかった会も県連遭対部へ計画書を提出して下さい。

〇会議では以下のような指摘・質問がありました。

・パーティ分けを予定して L、SL を配置しているが、メンバーのパーティーわけができていない。、早めにパーティ分けをすること、現地で組み変えをして事故を起こした事例を教訓に。

・共同装備で細引きと記載されているが、ザイルは持って行かないのか？という質問に対し、ザイルは携行しない。8ｍｍX20ｍの補助ザイルを携行するとの回答。

〇洞井会長から、「出された計画は結構慎重なものが多いが、今期の冬山は全く天候次第。十分注意して取り組んでいただきたい。来る 1 月 15 日（金）の冬山合宿遭対報告会議には、元気な顔を合わせましょう」と結びの言葉がありました。

○遭対部：「山と渓谷」12 月号に「凍傷・滑落を防ぐ雪山リスクマネジメント」が特集されています。県連のプロジェクトチームのまとめた文書とともに参考にして下さい。

第 47 期冬山合宿提出一覧

山　岳　会		山　域	コ　ー　ス	日　程	人数
あつた勤労者山岳会	A	北ア	西穂高駅～西穂山荘～丸山　往復	12/26~27	3
	B	八ヶ岳	美濃戸口～赤岳鉱泉～赤岩の頭～硫黄岳往復	1/10~11	3
	C	南ア	戸台～長衛小屋～仙水峠～甲斐駒ヶ岳　往復	1/9~11	8
じねんじょ山の会		八ヶ岳	美濃戸口～赤岳鉱泉～赤岩の頭～硫黄岳往復	12/12~13	10
名古屋ありんこ山岳会		南ア	御座石温泉～鳳凰小屋～薬師岳　往復	1/9~10	7
名古屋山岳同志会	B	北ア	新穂高～白出沢～蒲田富士～奥穂高岳　往復	12/29~1/1	4
	C	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～南稜～赤岳～行者小屋～阿弥陀岳～美濃戸	1/9~11	8
	D	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～硫黄岳～赤岳～美濃戸	1/9~11	13
	E	八ヶ岳	美濃戸～行者小屋～赤岳　往復	1/9~11	10
半田ファミリー山の会		南ア	竹宇駒ヶ岳神社～黒戸尾根～甲斐駒ヶ岳往復	1/9~11	6
東三河山ぽ会	A	北ア	西穂高駅～西穂山荘～西穂高岳　往復	1/8~10	5
	B	北ア	西穂高駅～西穂山荘～西穂独標　往復	1/8~10	7
	C	北ア	西穂高駅～西穂山荘～西穂独標　往復	1/9~11	8
	D	北ア	中の湯～焼岳南峰　往復	1/9~11	6
	E	八ヶ岳	美濃戸口～赤岳鉱泉～南沢小滝～美濃戸口	1/9~11	3
若駒山岳会		北ア	中の湯～西尾根～霞沢岳～徳本峠～上高地	12/29~31	3

積雪期救助訓練に、みんなで参加しましょう。

机上 2016 年 1 月 25 日(月)、実技 1 月 31 日(日)です。

今年度の積雪期救助訓練は、同じ山域で起きた事故の対応に協力し、実際に事故者を搬出する作業にかかわりました。参加者は大事なことを学んだと思います。

事故が起きた場合、当該パーティが自前で応急処置から搬出まで行うことができれば、事故者にとってはベストな対応になります。万一の場合に、日常的に携行している装備を使って適切に対処できる知識と技術を学び、身に着けることを目的とした訓練を行います。

みんなで参加しましょう。

【机上】2016 年 1 月 25 日（月）19：30～県連事務所。
講師：森　和之（東三河山ぽ会・県連副会長）
【実技】2016 年 1 月 31 日（日）御在所岳予定。
【申し込み】所属会名・氏名・住所・TEL番号・緊急連絡先・生年月日・遭対口数・血液型・机上のみか実技も参加するかを明らかにし、各会理事または県連へ申し込んで下さい。参加費無料。締め切りは、1 月 22 日（金）理事会まで。

婦人部

第 8 回女性のつどい『実践山筋ゴーゴー体操総集編』を実施。

12 月 3 日(木)、19 時から県連事務所で第 8 回女性のつどいを開きました。
参加者は９山岳会３４名でした。
テーマは「実践山筋ゴーゴー体操総集編」。
今まで「女性のつどい」を開くたびに、始める前に行ってきた「山筋ゴーゴー体操」の総集編と位置づけ、いつまでも山登りを続けるために、しっかり山筋ゴーゴー体操を身につけるのを目標にした学習会です。この日は教育部とのコラボレーションで、県連登山学校の「体力・トレーニング論」を担当していただいている東海山岳会会長の井土伸一さんを講師にお願いしました。
30 分の机上講座を受けてから、全員が筋トレやストレッチを実際に行って、靭帯や筋のこわばり・関節のこわばりをなくしたり、ゴルフボール等を使ったストレッチ・コンディショニング運動を学びました。
山筋ゴーゴー体操は、毎日、１回でも２回でも続けることが大切です。参加して頂いた方々が中心になって各山岳会でも実践できるようになるといいですね。

組織部

2016 年 1 月 21 日（木）「第 6 回組織担当者会議」を開きます

総会まで残すところ一カ月余になります。
次の項目を主要な議題として予定しています。ぜひご出席ください。
【議題】①　総会にむけて「組織部のまとめと方針」
②　次期の「一般向け登山講座」を成功させるために必要な準備
③　「プラス１運動」各会での取り組み状況
④　「登山時報」の普及活動の交流

ふわく山の会が 250 人、山岳同志会が 110 人を越えました。

9 月から 11 月末までの会員数推移を紹介します。
全体としては微増の状況を示していますが、一進一退、といったところでしょうか。
ふわく山の会が 250 人、名古屋山岳同志会が 110 人とそれぞれ会員数を伸ばしています。尿う会社への呼びかけや、ホームページの更新など地道な取り組みが実を結んでいるといえます。

名古屋山岳同志会は、今年の冬合宿ではグレードを分けて 4 パーティー約 30 名が八ヶ岳へ入ります。「テント場を占拠して顰蹙ものだぞ」という冷やかしを受けつつ。会の勢いというものでしょう。「人数がいなくて、なかなか山行が取り組めない会があれば、一緒に交流しながら登りませんか。県連盟全体で仲間を増やしたいですものね」という同会の会員からの話もあります。

若干心配なのは、会員数一けたから 10 名前後になってきている会のことです。なかなか山行に行けなくなった、会員数が減って、県連の会議にも出席できない、そんな山岳会もあります。高齢化なども問題になっていますが、もう少し、なんとかならないものか、そんな課題が来年も続きそうです。みなさんのお知恵と力をお貸しください。

合わせて、労山の機関誌『登山時報』の購読を進めてください。山行、会員教育、トレーニング、山の情報その他を共有しながら会運営を進めていくこと、このことがおそらく新しい仲間を増やし、会の活動を活発にしていく力になると思います。

県連盟組織数推移（2015. 9～11）

	2015 年9月末現在			10月末現在			11月末現在		
	在籍会員数			在籍会員数			在籍会員数		
加　盟　団　体	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あつた勤労者山岳会	34	32	66	34	32	66	34	32	66
アリス山の会	3	4	7	3	4	7	3	4	7
犬山勤労者山の会マップ	19	29	48	19	29	48	19	29	48
おやこ山の会	3	6	9	3	6	9	1	4	5
春日井峠の会	22	20	42	22	20	42	24	20	44
かわせみ山楽会	6	1	7	6	1	7	6	1	7
じねんじょ山の会	31	27	58	31	27	58	31	27	58
スルジェ山の会	15	17	32	16	17	33	17	18	35
ちんぐるま	5	0	5	5	0	5	5	0	5
東海山岳会	27	8	35	27	8	35	27	8	35
名古屋ありんこ山岳会	20	15	35	20	15	35	20	15	35
名古屋 ASC	22	13	35	22	13	35	22	13	35
名古屋山岳同志会	61	48	109	61	48	109	66	46	112
名古屋山歩会	15	7	22	15	7	22	15	7	22
半田ファミリー山の会	35	46	81	37	46	83	37	47	84
東三河山ぽ会	89	92	181	89	92	181	89	93	182
低い山を楽しむ会	9	6	15	8	6	14	8	6	14
ふわく山の会	118	125	243	122	127	249	122	129	251
みどり山の会	11	23	34	10	23	33	10	23	33
山の会「くらら」	44	33	77	44	33	77	44	33	77
若駒山岳会	11	9	20	11	9	20	11	9	20
合　　計	600	561	1161	605	563	1168	611	564	1175

県連活動メモ

今年の県連の理事会は 12 月 18 日(金)が最後。年が明けると、2016 年 1 月 8 日に第 21 回理事会が開かれ、それ以後は 3 月の第一日曜日・6 日に開かれる第 48 回県連定期総会へ向けて準備が始まります。

一方では、氷雪技術講習会の実技、東海ブロック雪崩講習会、積雪期救助訓練、各専門部の担当者会議などがずっと予定されています。

ともすれば忘れがちになる、県連の様々な取り組み、どんな進み具合になっているか、先日の愛知県連第 19 回理事会(2015,12,4)の会議をかいつまんで報告しておきます。

2015 年 12 月 4 日開催　第 19 回理事会

11 山岳会 14 名出席（半田、東三河、あつた、ふわく、同志会、ありんこ、くらら、じねんじょ、スルジェ、かわせみ、山歩会）

【議題－報告事項】

12 月 3 日（木）　第 8 回女性のつどい「実践！山筋ゴーゴー体操総集編」

教育部とのコラボレーションによる取り組み。講師に井土伸一東海山岳会会長。

9 山岳会 34 名の参加があった。日々登山をするだけでは筋力低下。筋トレとストレッチング、コンディショニングによる体調、体力の維持が大事。実践を含めていい時間を持った。

内々の取り組みだけではだめで、広く知らせる取り組みや多くの人たちの参加で、婦人部のネットワークづくりを進めることが大事。位置づけと、広く知らせていく広報が行われているか。

12 月 4 日（金）全国正・副会長会議（全国連盟事務所・洞井出席）

来年 2 月 20 日・21 日に予定されている全国総会の議案に向けての協議。内容か昨年行われた「労山組織基本問題調査会」における答申の中で、全国副会長の役割の定義と広域理事会制度の発足にかかわる提案についての確認と議論。来年総会以後、全国役員選出方法が変わる予定。

12 月 5 日・6 日　予定されていた氷雪技術講習会の実技は来年 1 月 16 日・17 日に延期。

かつては氷雪の実技を 11 月に実施していた。それが 12 月にずらしても積雪が不安定で実施があやぶまれるような状況に。来年度以降の氷雪技術講習会の要項を出す段階で、日程についても考慮していく必要性が出てきている。

自然保護部　鈴鹿・藤原だけにおける外来種ハルザキヤマガラシの駆除についての取り組み経過報告とそれについての結果、注意点、課題などについて報告された。しかしながら、取り組みに至った経緯と、具体的な実施状況（地点の状況と、それぞれの駆除作業）についての報告やそれらに対する総括などの情報が全く報告されていないこと、「活動の注意点」や「来期の課題」として挙げられても、状況の共有がなければ、個人、あるいは有志の取り組みに終わってしまう。来期の県連の方針として掲げるためには、報告と提案、さらに検討が必要であるという指摘がされ、再度報告を行うことになった。12 月 17 日には第 6 回自然保護担当者回が開かれる。

遭対部　12 月 11 日、冬山合宿遭対連絡会議を予定している。各会とも、計画書 30 部を持参のこと。

組織部　『登山時報』購読について、各会で問題提起と、購読部数を増やしていくための議論をお願いしたい。

Schedule 2015～2016

2015年11月			2016年1月			2月		
1	火		1	金		1	月	
2	水		2	土		2	火	
3	木	女性のつどい⑧	3	日		3	水	
4	金	理事会 19	4	月		4	木	女性のつどい⑩
5	土	氷雪技術実技	5	火		5	金	理事会 23
6	日	氷雪技術実技	6	水	教育担当者会議⑦	6	土	
7	月		7	木	女性のつどい⑨	7	日	
8	火		8	金	理事会 21	8	月	
9	水		9	土		9	火	
10	木		10	日		10	水	
11	金	冬合宿遭対連絡会議	11	月		11	木	組織担当者会議⑦
12	土		12	火		12	金	理事会 24
13	日		13	水		13	土	
14	月		14	木	自然保護担当者会議	14	日	
15	火		15	金	冬合宿遭対報告会議	15	月	
16	水		16	土	↑氷雪技術講習会	16	火	
17	木	自然保護担当者会議	17	日	↓　　実技	17	水	
18	金	理事会 20	18	月	登山学校コーチ会議	18	木	
19	土		19	火		19	金	理事会 25
20	日		20	水		20	土	全国総会
21	月		21	木	組織担当者会議⑥	21	日	全国総会
22	火		22	金	理事会 22	22	月	
23	水		23	土	↑東海Ｂ．雪崩講習	23	火	
24	木		24	日	↓　会（実技）	24	水	
25	金		25	月	積雪期救助訓練机上	25	木	
26	土		26	火		26	金	理事会 26
27	日		27	水		27	土	
28	月		28	木	教育担当者会議⑧	28	日	
29	火		29	金	遭対担当者会議⑤	29	月	
30	水		30	土				
31	木		31	日	積雪期救助訓練実技			

ご意見、ご用望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

http://aichirousan.web.fc2.com/　　e-mail:aichirousan@gmail.com

▲今年の冬合宿、年末年始の合宿の日程が決めにくいらしく、ほとんどが１月 10 日前後に集中している。山も混雑しそうな気がする　▲雪がない。温かい。天候の急変が心配